

がいこくじん ぶんか じょうほうし
外国人のためのくらしと文化の情報誌

kokoka

Life In Kyoto

なつごう
2022 夏号

えいご
英語の
ネイティブ
チェッカー
ぼしゅうめう
募集中!

もくじ

わたし す きょうと
01 私の好きな京都

きょうと おきなわ てら
02 京都と沖縄をつなぐ寺

ゆびわ
03 指輪をいただきました

へいわ
04 ウクライナに平和を
きょうとじん しえん
: 京都人の支援

きょうと
05 京都のeスポーツ

06 kokoPlaza Letter

なつ きょうと めいしよ
07 夏の京都・アジサイの名所

がいこくじん じょうほうし
外国人のための情報誌「Life In Kyoto」でPRしませんか?

こうこくぼしゅうちゅう
広告募集中!! 1 枠 10,000 円~

☎ 075-752-3511 ☒ office@kcif.or.jp

01 私の好きな京都

かしこ暮らしっく長岡京 | 仲村菁(台湾)



こんにちは、私の名前は仲村菁と申します。出身は台湾の彰化です。私はバックパックを担いで世界中を旅行するのが大好きで、日本には30回以上来ました。

今は、「かしこ暮らしっく長岡京」を標語として町おこしをしている長岡京市に住んでいます。

長岡京市は京都から西南に約10kmにあり、京都や大阪へは、JRや阪急が通っていて便利です。この町は、西山を背にして四季の自然を楽しめる美しいところで、くつろげます。豊かな歴史があり、最大のトピックは奈良の平城京から784年に長岡京として遷都されたことです。その後、794年には京都に平安京として遷都されました。

日本には、どの季節にも美しい自然があります。特に千年の古都である京都には、古い寺などの建築物と歴史に囲まれた雰囲気があり、落ち着いた生活環境の町となっています。

京都鉄道博物館の扇形車庫は、故郷の彰化にある扇形車庫と同じで、歴史上の遺産です。台湾と京都はとても似ているので特別な思い出があります。京都の人々はとても温かく、礼に始まる日本人ならではの伝統を感じます。先にお礼を言って、挨拶すれば、お互いに仲良くすることができます。また、外国人の記憶に残る簡単ですが親しみのある京都の習慣があります。例えば、毎朝、花に水をやり路地に水をまき掃除をするときに、お互いに挨拶します。私が仕事を探していたとき、近所の人が私を商工会議所に連れて行って、あらゆる面で助けてくれました。



郵便局のサービスにもびっくりしました。アメリカの友達への荷物が届かなくて、アメリカでの郵便物の追跡ができなかったときには、向日町郵便局の方が親切にプロとして、すぐに解決してくれました。「荷物が届きましたらすぐに電話します」、とハガキで知らせを頂きました。長岡今里郵便局に私のキャッシュカードを忘れたときも、すぐに電話があり、戻ってきました。思いやりの精神に本当に感動しました。おもてなしを大切にする日本のサービスは、本当に世界一だと思いました。

京都で日本語を教えるボランティアの先生はたくさんいて、どの先生もレッスンを大切に、一生懸命に教えてくれます。それだけでなく、日頃の生活についても教えてくれます。

京都の『おこしやす』は、ゆっくり体験してから、だんだん意味が解ってくる京都人のあいさつです。この千年の古都から深く学ぶ事ができることが好きになっていくと思います。京都と長岡京でおすすめ、のんびり暮らし。



02 京都と沖縄をつなぐ寺

池宮城 安子



檀王法林寺は三条大橋の東側のたもとにあり、「壇のうさん」とよばれて親しまれています。この寺と沖縄は深いつながりがあります。寺では「沖縄フェスタ in 京都」と「ピースフルコンサート」が行われます。

沖縄フェスタは県人会の人たちや琉球民謡を楽しみたいと集まったファンクラブの人たちが始めたものです。毎年5月に行われます。境内から聞こえてくる力強い太鼓の響きに近くの人々や通りがかった人たちが集まって来て盛大な祭りとなりました。

ピースフルコンサートは6月23日の慰霊の日の前後に行われます。太平洋戦争中、沖縄戦で亡くなった人々を追悼したいという信ヶ原住職の強い願いから始まりました。

寺と沖縄の結びつきは1600年頃にさかのぼります。後に檀王法林寺を開いた袋中上人が仏教を学ぶため明（中国）に渡りたいと琉球（沖縄）まで行ったのですが、渡明することができませんでした。沖縄に3年ほど滞在することになり、そこでこの寺と沖縄のつながりが深まったのです。その後、交流は途絶えていましたが1920年代から再び交流が始まりました。

沖縄のことを学びたいと若い人から年配の人たちまで「壇のうさん」に集まってきます。今年は特に沖縄の日本復帰50周年で関心をもった多くの人が集まっています。

03 指輪をいただきました

川崎雅司

ごはんを食べる前の「いただきます」は挨拶で習います。では「指輪をいただきました」はどんな時に使うでしょう。指輪を食べました、ではありませんよ。

外国人のための日本語の教科書で勉強するとき、「あげる」と「もらう」という表現がでてきます。日本人がよく使う同じ意味の表現で「さしあげる」と「やる」、や、「いただく」「くださる」「くれる」もありますが、どう違うのでしょうか。

日本語では「あげる」と「もらう」の表現がとても多いです。その上、花や指輪など品物のやりとりだけではありません。動作の「取る」を使って「取ってあげる」「取ってもらう」と言います。また、行為の「教える」を「教えてあげる」「教えてもらう」という使い方もします。外国語では違う表現を使う言い方も多いです。あなたの国ではどうでしょう。

日本語母語話者はこんなにたくさんある表現を無意識に使っています。でも、たくさんあるので間違ってしまうこともあります。

日本人に聞いて下さい。花や指輪を「give」の意味で使う「あげる」「さしあげる」「やる」と、「receive」の意味で使う「くれる」「もらう」「くださる」「いただく」はそれぞれどんな時に、誰が、誰に対して使う言葉でしょうか。それを自分で一覧表にして、使ってみて下さい。ひとつずつ使い方が正しいかどうか聞きましよう。おもしろい交流になるでしょう。

※放送大学講義 日本語学入門（'20）第9回 前田直子学習院大学教授のまとめを参考にしました。



04 ウクライナに平和を：京都人の支援

いしはら けいこ
石原 啓子



イベント「ウクライナに平和を」が京都市国際交流協会などの主催で4月30日から同会館でひらかれました。日本に住むウクライナ人たちが企画したものです。歴史・言語・民俗学のレクチャー、パネルディスカッション、民芸のワークショップ、歌・ダンスなどがあり、2日間で2500人が足を運びました。

ウクライナのロシア化を図るすさまじい攻撃で、多くの犠牲者が出ていますが、キーウ出身のウクライナ人は訴えます。「私たちは命のためでなく、アイデンティティのために戦っている。言葉や文化を失ったら、命だけがあっても生きていることにはならない」と。

民俗学の片岡浩史氏は、「なぜ、その地にとどまるのか。土地はウクライナ人にとって聖なるもの。死体の上からひまわりが咲く絵が多くみられる。ここで生まれ、ここで死ぬ。どこかに移動すればよいとは考えない」と語りました。

会場の空気には真剣なものがあり、強い関心と共感がよせられました。LIKは支援の取り組みの中心にいる3人に取材しました。

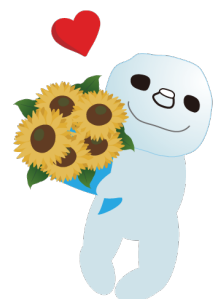
子どもたちがイベントで踊った寺田バレエ団の高尾美智子代表は、「たくさんの寄付金が集まっている。

ぜひ、ウクライナの芸術のために使ってほしい」と言います。長男で国立キーウバレエ団の寺田宣弘さんは、ダンサーと生徒のためにヨーロッパでのバレエ関係の受入先を探して力をつくしています。

ウクライナ国歌をイベントの初めに歌った京都国際交流合唱団。7月にもウクライナ応援の演奏会を開きます。津田隆代表は、「メディアの取り上げ方は浮き沈みが激しい。うまく彼らとつきあいながら、地道にコツコツやっていきたい」と話しました。

門川大作京都市長は、「ウクライナからの受入数は現在1家族と5名の単身者、5月の連休明けにはさらに3名の単身者がくる」と会場に報告しました。LIKの取材に対しては、「大学や企業の支援も広がっている。何名まで受入れると区切ることなく、支援のふところを深めてゆきたい」と答えました。

4月末現在で、住宅66件、語学ボランティア46件の申し出があります。戦いの長びく中、具体的な支援が京都で動き出しています。



05 京都のeスポーツ

鈴木 秀利

最近、eスポーツが注目を集めています。eスポーツは競技としてビデオゲームなどをプレーするもので、来年、中国で行われるアジア大会の種目にもなっています。そんな中、京都府ではeスポーツを「新しい文化」と考えて、その振興に力を入れています。

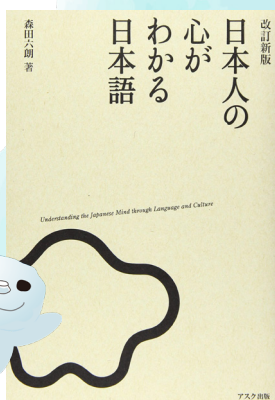
今回、京都のeスポーツについて、京都eスポーツ協会の堀川宣和会長に話を聞きました。京都eスポーツ協会では、京都府や企業・団体などと協力してeスポーツ普及のためにイベントの開催や情報発信をしています。そのひとつとして、京都eスポーツ協会では、毎月2回「京都杯」という大会をオンラインで開催しています。大会には毎回20チームぐらいが出ていて、そのうち半分ぐらいは全国で有名なチームです。

京都のeスポーツについて堀川会長は「海外では中国や韓国が特に進んでいて日本はまだ遅れています。また、日本国内でも京都はそれほど進んでいるわけではありません。京都には任天堂やマンガミュージアムなどがあり、良いコンテンツを持っています。また、学生などeスポーツ選手を中心となる若い人が多いです。海外から来る人も多いです。今後は、そういった京都の特徴を生かして、京都のeスポーツを盛り上げたい」と話していました。

eスポーツは、単に娯楽というだけでなく、地域の活性化や子どもたちの教育につながったり、新しい大きな産業になる魅力を持っています。今後のeスポーツの発展に注目です。



06 kokoPlaza Letter



『改訂新版 日本人の心がわかる日本語』 森田六朗(著)、アスク出版、2021

「世間様」、「空気を読む」、「本音と建前」など、日本人がよく使う言葉。でもその意味や使い方について尋ねても、日本人もうまく説明してくれません。(というか、説明できません!) そんなもどかしい日本人の「あるある」を、分かりやすく解説した本です。日本人と話をする時に、いい印象を持ってもらえる一言や、言葉以外の習慣など、憶えておくともっとコミュニケーションが楽しくなる情報を学べます。英語、中国語、韓国語の単語ノートも充実しています。もっと日本のこと、日本人のことを知りたい人へ、おすすめの一冊です。

kokoka2階にあるブックスペース「kokoPlaza (ココプラザ)」には、日本や外国の文化を紹介した本や、日本の生活(法律、ビザ、教育、子育て、防災など)について知る本、日本語学習のための本などがあります。ぜひ利用してくださいね!

【オープン】9:30 ~ 17:00
(月曜日 & 月末最終日閉室)

【TEL】075-752-1187

【FAX】075-752-3510

※本の貸し出しはしていません。

07 夏の京都・アジサイの名所

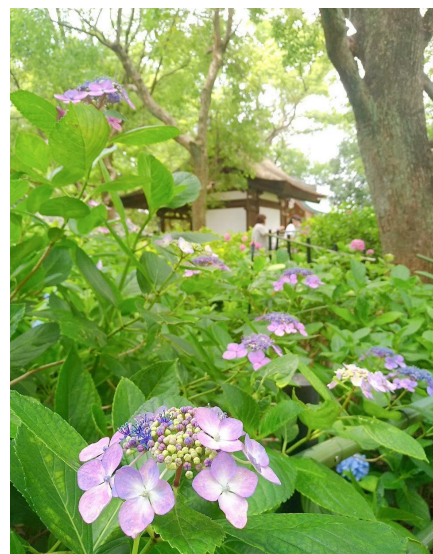
横田 花音

6月といえば梅雨のシーズンですね。雨が多く、じめじめする時期なので外に出るのがいやだなと感じる方もいるかもしれません。そこで、雨ががあるからこそ風情を感じさせてくれる「アジサイの名所」を3つご紹介します。

まずご紹介するのが、アジサイ寺と言われるほど、関西指折りのアジサイの名所である「三室戸寺」です。こちらは宇治市にあるのですが、花の寺としても知られており、5月にツツジ、6月にアジサイ、7月にはハスなど、様々な花が美しく咲き続けます。こちらのお寺では、6月の初旬から下旬にかけて「あじさい園」が毎年公開されています。50種類、約2万株ものアジサイが咲いている姿は圧巻です。土日には、ライトアップも行われており、幻想的なアジサイも見ることができます。

続いては、「藤森神社」のアジサイをご紹介します。毎年、6月中旬頃にアジサイ祭りが行われており、およそ3500株のアジサイが色とりどりに咲いています。この時期には、アジサイの花が描かれた特別な御朱印もいただくことができます。

最後に、「梅宮大社」をご紹介します。ここでは、アジサイだけでなく、ハナショウブ、スイレンも見ることができます。カラフルな境内は梅雨の暑さも忘れさせてくれるほど美しいこと間違いなしです。アジサイは、毎年6月上旬～7月上旬頃に楽しめます。ぜひ、機会があれば足を運んでみてください。



Life In Kyoto

外国人のためのくらしと文化の情報誌
2022年夏号

(公財) 京都市国際交流協会

TEL: 075-752-3511

FAX: 075-752-3510

E-mail: office@kcif.or.jp

〒606-8536

京都市左京区粟田口鳥居町2-1

地下鉄東西線 [T09] 蹴上駅より徒歩6分

開館時間: 9:00 - 21:00 休館日: 月曜日

(月曜日が祝日の場合、その翌日の平日)

<https://www.kcif.or.jp/web/jp/publications/#lifeinkyoto>



オンラインでも読むことができます。
バックナンバーも公開中です。

LIK 編集ボランティア

石原 詩恵奈 / 石原 啓子 / 生田 稔 / 池宮城 安子
岡本 圭介 / 金谷 千菜美 / 川崎 雅司 / 古園 美樹
小谷 仁美 / 佐藤 未奈 / 澤田 淳美 / 鈴木 秀利
西木 美恵 / 藤田 リサ / 古田 富好 / 町野 陽一
松尾 有希也 / 水野 裕司 / 八木 俊幸 / 湯澤 公朗

YU YANGHONG / LIN HSIU FENG

横田 花音 / 市宮 景子

ボランティア
募集中!

